

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公表番号】特表2020-533443(P2020-533443A)

【公表日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2020-513645(P2020-513645)

【国際特許分類】

C 08 G	18/79	(2006.01)
C 08 G	18/10	(2006.01)
C 08 G	18/28	(2006.01)
C 08 G	18/42	(2006.01)
C 08 G	18/48	(2006.01)
C 08 G	18/73	(2006.01)
C 09 D	175/02	(2006.01)
C 09 J	175/02	(2006.01)
C 09 J	5/00	(2006.01)

【F I】

C 08 G	18/79	0 8 0
C 08 G	18/10	
C 08 G	18/28	0 1 5
C 08 G	18/42	
C 08 G	18/48	
C 08 G	18/73	
C 09 D	175/02	
C 09 J	175/02	
C 09 J	5/00	

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料であって、前記重合性組成物が、

a. それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料と

b. 第一級アルコール又は第二級アルコールである、单一のOH基を有する第1のヒドロキシル含有化合物と、

c. ジオールである、1つを超えるOH基を有する第2のヒドロキシル含有化合物とを含み、前記反応生成物が、0.2~0.5(両端を含む)の、イソシアネート当量に対するジオール当量を含み、

前記ポリマー材料が、90%以上の固体分含有率を含み、

前記ポリマー材料が、ブルックフィールド粘度計を使用して決定される、10ポアズ(

P)~10,000P(両端を含む)の動的粘度を有する、

ポリマー材料。

【請求項 2】

前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1 . 3 ~ 2 . 5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含む、請求項 1 に記載のポリマー材料。

【請求項 3】

イソシアネートを本質的に含まない、請求項 1 又は 2 に記載のポリマー材料。

【請求項 4】

前記ジイソシアネートが、ヘキサメチレンジイソシアネートを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のポリマー材料。

【請求項 5】

a . 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を含む第 1 の部分であって、前記重合性組成物が、

i . それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料、

i i . 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物、及び

i i i . 1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1 . 3 ~ 2 . 5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90 % 以上の固体分含有率を含む、第 1 の部分と、

b . 少なくとも 1 つのアミンを含む第 2 の部分であって、前記少なくとも 1 つのアミンが 2 . 0 以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第 2 の部分と

を含む、2 成分組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのアミンが、1 モル当たり 2 , 000 g 以下の分子量を有する、請求項 5 に記載の 2 成分組成物。

【請求項 7】

請求項 5 又は 6 に記載の 2 成分組成物の、重合生成物。

【請求項 8】

基材の少なくとも一部をコーティングする、請求項 7 に記載の重合生成物。

【請求項 9】

2 つの基材の間に配置される、請求項 7 又は 8 に記載の重合生成物。

【請求項 10】

2 つの基材を一緒に接着する方法であって、

a . 2 成分組成物を得ることであって、前記 2 成分組成物が、

i . 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を含む第 1 の部分であり、前記重合性組成物が、

1 . それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料、

2 . 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物、及び

3 . 1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1 . 3 ~ 2 . 5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90 % 以上の固体分含有率を含む、第 1 の部分、並びに

i i . 少なくとも 1 つのアミンを含む第 2 の部分であり、前記少なくとも 1 つのアミンが 2 . 0 以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第 2 の部分

を含む、得ることと、

b . 前記第 1 の部分の少なくとも一部を、前記第 2 の部分の少なくとも一部と合わせて

混合物を形成することと、

- c . 前記混合物の少なくとも一部を、第 1 の基材の第 1 の主面上に配置することと、
- d . 第 2 の基材の第 1 の主面を、前記第 1 の基材上に配置された前記混合物と接触させることと

を含む、方法。

【請求項 1 1】

前記接着剤が、0 . 3 メガパスカル (M Pa) の、アルミニウム上の最小重ね剪断を呈する、請求項1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

2 成分組成物を製造する方法であって、

- a . 重合性組成物の反応生成物を含むポリマー材料を形成することにより第 1 の部分を提供することであって、前記重合性組成物が、

i . それ自体と反応したジイソシアネートの反応生成物を含むウレトジオン含有材料

、
i i . 第一級アルコール又は第二級アルコールである、単一の OH 基を有する第 1 のヒドロキシル含有化合物、及び

i i i . 1 つを超える OH 基を有する第 2 のヒドロキシル含有化合物

を含み、前記ポリマー材料が、前記ポリマー材料の主鎖中に、平均 1 . 3 ~ 2 . 5 (両端を含む) のウレトジオン官能基を含み、前記ポリマー材料が、90 % 以上の固体分含有率を含む、第 1 の部分を提供すること、

b . 少なくとも 1 つのアミンを含む第 2 の部分を提供することであって、前記少なくとも 1 つのアミンが 2 . 0 以上の平均アミン官能価を有し、各アミンが第一級アミン又は第二級アミンである、第 2 の部分を提供することと

を含む、方法。